

ふるさと体験活動教室（一の宮中校区編） 事業報告書

事業推進室長 一鬼 隆浩

1. 事業概要

- (1) 実施期間 平成27年7月1日（水）～3日（金）
- (2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (3) 参加者 児童82名（宮地小：66名 坂梨小：10名 古城小：6名）
先生16名 計98名
- (4) 事業内容
- 1日目 ・ドームテント張り ・マイ箸作り ・野外調理 ・交流会
 - 2日目 ・杵島岳登山 ・キャンドルのつどい
 - 3日目 ・阿蘇検定ウォークラリー

2. 成果と課題

(1) 成果

- ① 企画の趣旨を踏まえ、今年度は3校の先生方が話し合っって開発したプログラムの執行ができた点は大変有意義であった。また、3日間を通して傷病者やけが人が出なかった点は、大変評価できる。
- ② 当日初日に、大雨の影響で1時間遅延の開始となったが、柔軟な時間配分でプログラムを設定していたので、窮屈になる場面もなく1日目を終えられた点は評価できる。
- ③ 「ふるさとのよさに気づく事ができる」という目標に達成できるよう、初日と2日目のプログラムから、3日目の阿蘇検定ウォークラリーに意図して、つなげたプログラムの流れはとても良く、「いままで知らなかった阿蘇の事がわかって嬉しかった」と児童から感想発表があった。

(2) 課題

- ① 先生方とスタッフとの確認会議が設けてなかったので、その日になって動きを確認する場面があった。
- ② 児童がふざけてテントの骨組みを破損した。先生方と連携し、注意喚起を促す必要性があると感じた。



【 開会式の様子 】



【 協力してテント作り 】



【 工夫してマイ箸作り 】



【 みんなで楽しく野外炊飯 】



【 ガイドさんの話しを聞きながら登山 】



【 キャンドルのつどい2部 】



【 阿蘇検定ウォークラリーの様子 】